

2024年度_活動報告

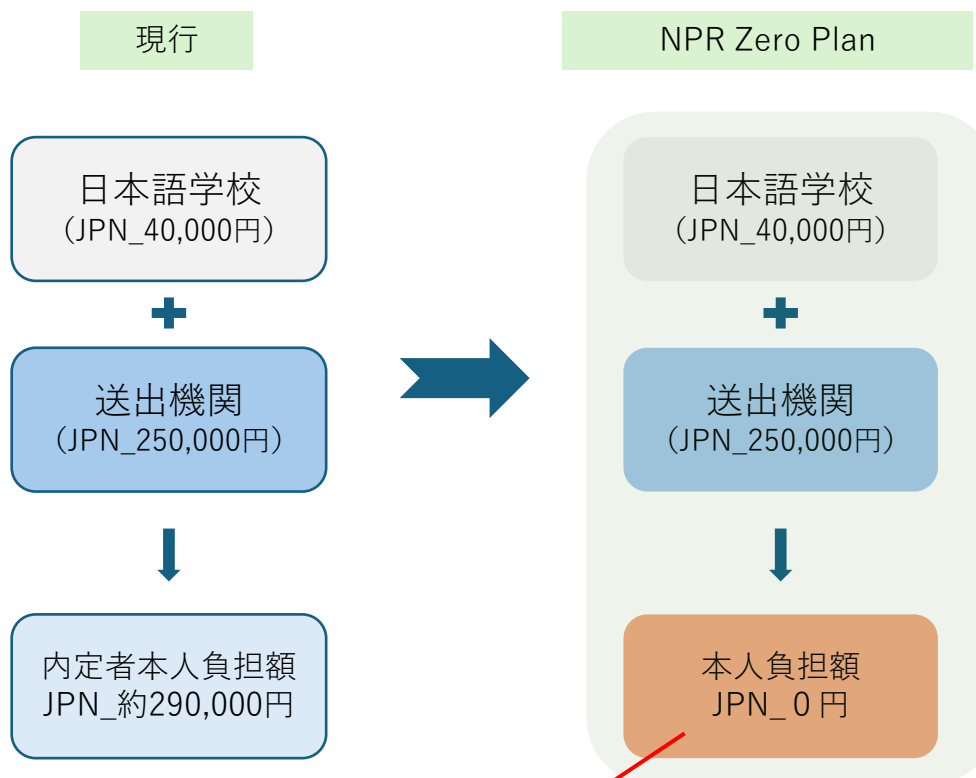
「ゼロルピースキーム」について

< 中小企業対象で実現する“ゼロフィー”の要件 >

- ・ 関係機関（海外機関＋日本国内機関）の**設定額が低く**抑えられている事
- ・ 海外機関（学校と送出し機関）が**一体組織**である事



「ゼロルピー・スキーム (Zero Rupia Scheme) _Nepal



費用項目	現行	ZRS	日本側追加負担額
入国前教育費	15,000	80,000	65,000
監理費 5,000 × 36	180,000	360,000 (10,000 × 36)	180,000
2年目奨励金	無し	35,000	35,000
3年目奨励金	無し	20,000	20,000
本人負担額	300,000	0	0
現地機関運営費 合計額	495,000	495,000	300,000

* 日本側追加負担額の監理費増額分については、受入企業と監理団体GMTの自主努力により金額の調整を行う。

< ZRS実現の背景 >

・元々ネパールにはRBA基準クリアに対する認識と実績の基礎がある（マレーシアの電機系日系企業への派遣など）

・現地機関の徴収金額（本人負担額）が、他国に比して低く設定されており、日本側の追加負担額の理解が実現に導いている。

< 従来の290,000円の本人負担額 >

- ・ 送出し機関へ支払う監理費（毎月）を増額（監理団体協力分_ + 140,000円）
- ・ 採用内定後の教育費、1年後 + 2年後の協力金（受入企業協力分_ + 150,000円）

* 受入企業としては、元々低額設定のGMT必要費用なので一般的な標準額に比べると、大きい費用増額にはならない。

ー 林業人材がつなぐ、ネパールと日本の二つの村 ー

Napal_**Jyamrung村**と、Japan_**五木村**との姉妹村提携



Jyamrung村は、ネパール中部のバグマティ郡ダーディン地区にある山村。ヒマラヤ山系からの水を集めた美しい川が村を環流している。

五木村は、九州中部の球磨郡中部の山村。九州脊梁を水源に持つ多数の溪流水を集めた水質日本一の美しい川辺川が、村を環流している。

